

---

MAKING THE IMAGE INTELLIGENT

---



2025年3月期

# 決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2025年5月20日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。



**1 2025年3月期 決算説明**

**2 2026年3月期 通期業績予想**

**3 中期成長戦略**



**1** 2025年3月期 決算説明

**2** 2026年3月期 通期業績予想

**3** 中期成長戦略

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	60名 (2025年4月1日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

## IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



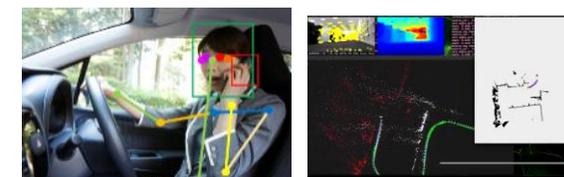
## 製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・協働ロボット向けビジョンシステム
- ・モジュール



## プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・セーフティシステム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



- **次世代エッジAI半導体**の開発は順調。2026年3月期量産、事業（販売）開始予定  
FA事業と合わせ、アミューズメント事業に続く長期的な事業基盤、成長エンジンに
- 売上高は4期連続過去最高を更新  
半導体開発費の計上もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は減益

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
<b>3,077</b> 百万円 (YoY※ +2%)	<b>124</b> 百万円 (YoY △27%)	<b>38</b> 百万円 (YoY △46%)	<b>168</b> 百万円 (YoY +0%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
<b>271</b> 百万円 (YoY △58百万円)	<b>2,855</b> 百万円 (YoY +4%)	<b>2,779</b> 百万円 (YoY +5%)	<b>90</b> 百万円 (YoY △32%)
	プロフェッショナルサービス		
	<b>97</b> 百万円 (YoY +12%)		

※ YoY (Year on Year) : 前年同期比

## エッジAI半導体の開発を含む成長投資を拡充

(単位：百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額
売上高	3,016	<b>3,077</b>	<b>+61</b>
営業利益	328	<b>265</b>	△ <b>63</b>
経常利益	330	<b>271</b>	△ <b>58</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	331	<b>157</b>	△ <b>174</b>

- アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」に加えて、ロボティクス分野のプロフェッショナルサービス事業の伸長が、IPコアライセンス事業におけるメンテナンスサポート大型案件の剥落をカバーし、売上高は2.0%増収
- エッジAI半導体の開発費79百万円を含む研究開発費増により、営業利益、経常利益は減益
- 特別損失として投資有価証券評価損42百万円を計上。また、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産45百万円を取り崩すこととし、法人税等調整額に計上

## ● 事業別売上高

**IPコアライセンス事業** 124百万円 前年同期 170百万円

- デジタル機器向け初期ライセンス・AI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野における初期ライセンス、リカーリング収益、並びにメンテナンス・サポート収入等を計上
- 前年同期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

**製品事業** 2,855百万円 前年同期 2,758百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム等の売上を計上
- Cambrianビジョンシステムは自動車メーカーの製造インラインへの本格導入を含む製品納入や商談が進捗

**プロフェッショナルサービス事業** 97百万円 前年同期 87百万円

- AI受託開発サービス、アミューズメント向け受託開発サービス収入を計上
- ロボティクス分野において、自律走行ロボット向けに加えて、半導体製造装置/建設機械向けプロフェッショナルサービスを提供

## ● 分野別売上高

**セーフティ分野** 38百万円 前年同期 71百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入、プロフェッショナルサービス収入を計上

**ロボティクス分野** 168百万円 前年同期 168百万円

- 自律走行ロボット向けライセンス提供に加え、プロフェッショナルサービス売上、Cambrianビジョンシステム等の製品売上等を計上

**アミューズメント分野** 2,779百万円 前年同期 2,642百万円

- 主にRS1の量産出荷売上を計上

**その他分野** 90百万円 前年同期 134百万円

- デジタル機器向けにGPU IP初期ライセンス、AI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンス・サポート収入等を計上
- 前年同期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

## 自己資本比率は88.2%と高水準を維持

(単位：百万円)		2024年 3月末	2025年 3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	3,272	3,297	+25	売掛金及び契約資産 +165 たな卸資産 +16 現預金 △73 有価証券 △100	
固定資産	647	794	+147	無形固定資産 +153 投資有価証券 +53 繰延税金資産 △44	
<b>資産合計</b>	<b>3,919</b>	<b>4,092</b>	<b>+172</b>		
流動負債	443	461	+18	買掛金 +114 未払消費税等 △47 未払法人税等 △32	
固定負債	18	19	+0		
<b>負債合計</b>	<b>461</b>	<b>480</b>	<b>+18</b>		
<b>純資産合計</b>	<b>3,457</b>	<b>3,611</b>	<b>+153</b>	利益剰余金 +157	
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,919</b>	<b>4,092</b>	<b>+172</b>		



**1** 2025年3月期 決算説明

**2** 2026年3月期 通期業績予想

**3** 中期的成長戦略

## 2026年3月期は将来の成長に向けた攻めの戦略的投資を実行

(単位：百万円)	2025年3月期 通期実績	2026年3月期	
		通期予想	増減率
売上高	3,077	<b>3,250</b>	+5.6%
営業利益	265	<b>20</b>	△92.5%
経常利益	271	<b>25</b>	△90.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	157	<b>20</b>	△87.3%

- 堅調なアミューズメント向け画像処理半導体出荷に加え、新規事業である次世代エッジAI半導体事業およびFA事業の売上も限定的ながら貢献し、売上高は増収を見込む
- 次世代エッジAI半導体開発（開発費US\$190万ドル）を中心に将来の成長に向けた戦略的投資を実行
- 中期的には、アミューズメント市場の更なる取り込みに加え、エッジAI半導体事業とFA事業の2本の成長エンジンにより、収益拡大、企業価値向上を目指す



**1** 2025年3月期 決算説明

**2** 2026年3月期 通期業績予想

**3** 中期成長戦略

## Making the Image Intelligent

画像を智能化する

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する

To develop cutting-edge products and services that leverage image intelligence to address practical challenges and deliver value to our stakeholders.

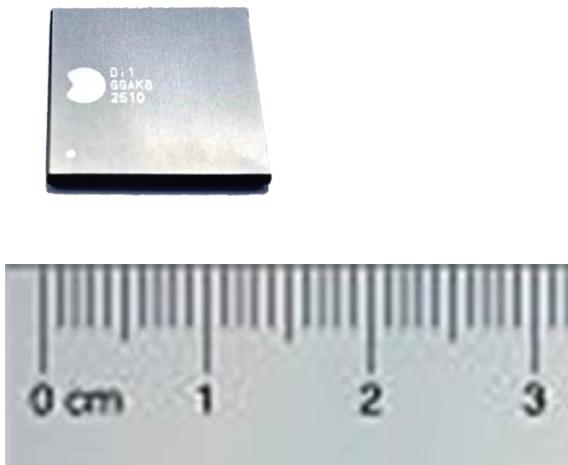
## 5月19日「Di1」発表サマリー

### DMPが次世代エッジAI SoC『Di1』を発表

- 販売時期地域：2025年第四半期から日本および台湾にて量産出荷を開始、順次グローバル展開（台湾市場ではDi1をiCatch Technology社が「V9」として販売）
- 特徴：高度な機能統合を実現、最新AI NPU、4K HDR対応ISP、リアルタイム3D測距、セキュリティなどを搭載しセキュリティカメラ、車載機器、高性能ドローン、ロボティクスなど多様なエッジAIアプリケーションで高度なエッジAI処理を実現
- 出展予定：2025年5月20日からComputex Taipei 2025に出展（iCatch Technologyブース）

## 計画通り2026年3月期4Qから出荷開始予定

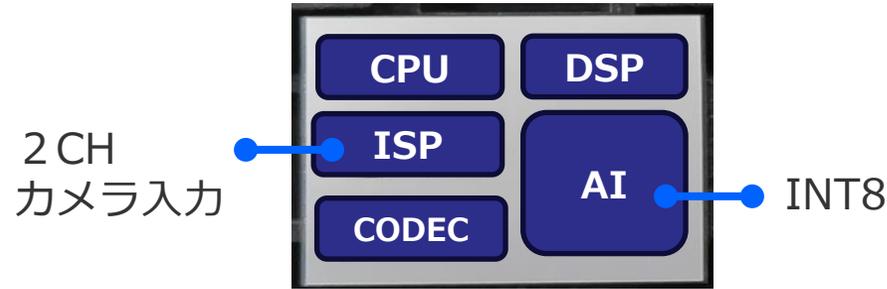
- 評価サンプル提供中
- 2025 Computex Taipei (5月20日-23日) iCatch Technologyブースにてデモ展示



Di1評価チップ

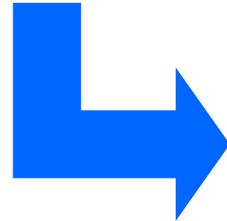


Di1評価ボード



競合する主なAIチップ

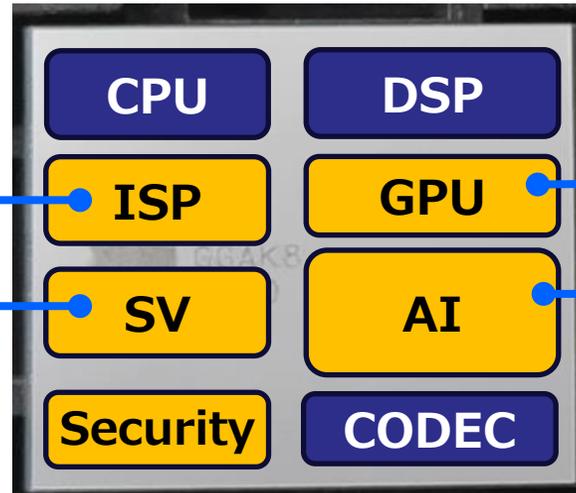
## 高度な機能統合により次世代エッジAIを実現するAll-In-Oneインテリジェントビジョンチップ



8CHカメラ入力

3D深度(距離)

高度な視覚認識技術  
(ドローンによる3D空間のAI分析など)



DMP Di1

2Dベクター  
グラフィックス

FP16, FP8, **FP4(E2M1, NF4)**, INT8, INT4  
ViT/Transformer model

高度な描画機能とDi1単体でのディスプレイ接続  
(ドライブレコーダー、デジタルサイネージなど)

NVIDIA等の学習環境からのDi1エッジ推論へのスムーズな連携 (FP16/FP8/FP4)  
最新のViT/Transformerモデルを「省エネルギー」「高速」「低コスト」でエッジ推論



オートモーティブ



AMR/ロボティクス



スマートファクトリー



セキュリティ



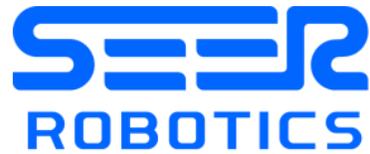
キオスク



ドローン

## 世界をリードする中国ロボティクス企業 3 社と協業、代理店契約を締結

※4/11にプレスリリース済



AMR開発用プラットフォーム  
AMR/AGF車両



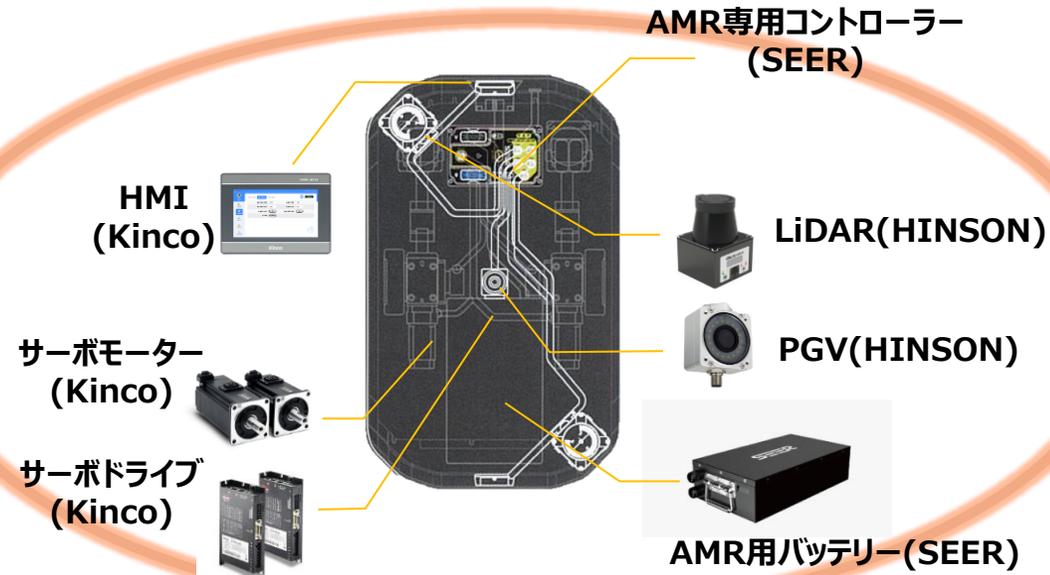
AMR向けモーター/HMI



LiDAR/ビジョンセンサ



## AMR/AGF向けキーコンポーネント



## AMR/AGF (完成車両)



AMRのトータルプロバイダーを目指す



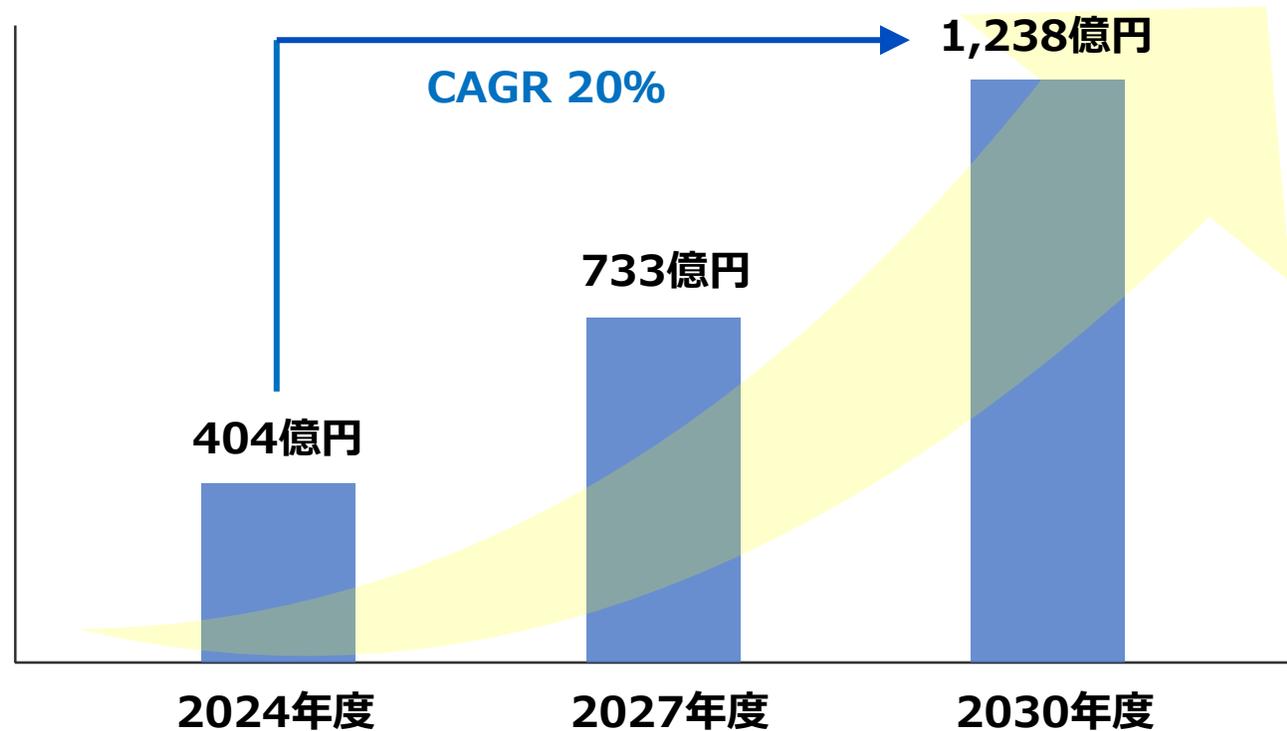
AMR開発者



エンドユーザー

## 物流業/製造業スマート化ニーズの高まり

日本の物流ロボティクス市場規模推移・予測



出典: 矢野経済研究所「物流ロボティクス市場の現状と将来展望」 2025年2月

## ZIA MOVE 導入事例

(株) GEクリエイティブ様

最新AMRに「ZIA MOVE」が採用、食品工場特有の複雑かつ厳しい環境においても、極めて高い精度と安定性を実現



重量物パレット搬送を目的としたリフトアップ型AMR『YL-250F』

エレベーター経由の冷蔵庫・冷凍庫内への自動搬送を業界で初めて実現。路面の傾斜や段差、障害物がある環境下でも安定した搬送を可能にした



惣菜・弁当工場に特化した搬送用ロボット『YT-350F』

LiDAR SLAMでは困難であった結露が生じる低温環境や半製品・製品がランダムに置かれた通路でも高精度な自己位置推定とロバストな自律走行を実現

## 顧客のニーズ、開発形態に応え幅広い製品ラインアップとソリューションをワンストップで提供



## 成長分野への展開：エッジAI半導体事業

コア事業で培った強み、ノウハウを活かした、新たな分野での半導体ビジネスを展開  
モビリティ、スマートファクトリー、ドローン、スマートカメラなどの高成長市場で採用拡大

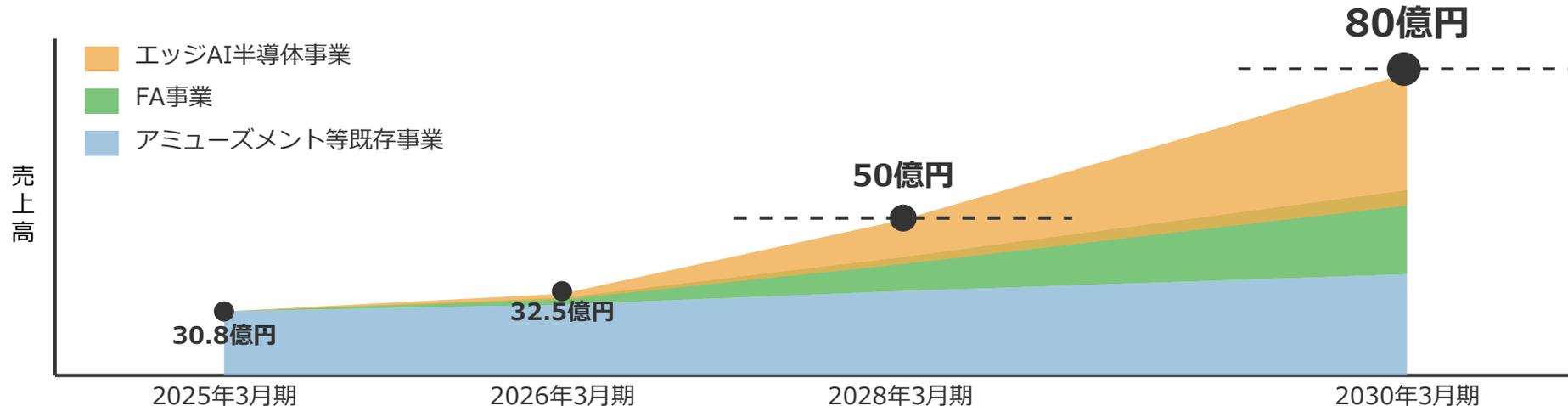
中長期的な  
企業価値向上

## 新規事業機会の獲得：FA事業

当社の更なる成長実現のため、新事業領域に取り組む Cambrian Vision Systemで築いた業界ネットワークを生かし、ロボティクス、ファクトリーオートメーション、物流自動化のさらなるスマート化により、日本の社会課題解決に貢献

## コア事業の更なる成長：アミューズメント事業

周辺ビジネスの取り込みによる付加価値増大とコスト低減などによる利益の強化



<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。